

令和4年度研修会講演録

全国専修学校一般課程各種学校協会

全国専修学校一般課程各種学校協会研修会 講演録

令和4年6月7日 会場：アルカディア市ヶ谷

生涯学習カレッジ認定講座掲載にかかる経緯について…………… 2

学校法人早稲田学園 早稲田予備校 守谷たつみ理事長
学校法人早稲田学園 早稲田予備校 戸村将文課長

留学生受け入れにかかる日本語教育の重要性について…………… 8

学校法人江副学園 新宿日本語学校 江副隆秀理事長

全国専修学校一般課程各種学校協会役員名簿…………… 15

生涯学習カレッジ認定講座掲載にかかる経緯について

学校法人早稲田学園 早稲田予備校 守谷たつみ理事長

学校法人早稲田学園 早稲田予備校 戸村将文課長



【コロナ禍でのオンライン授業】

早稲田予備校理事長の守谷たつみと申します。本日は当校の戸村将文課長と「生涯学習カレッジ認定講座掲載にかかる経緯について」をテーマにお話しさせていただきます。よろしくお願いします。

当校は、コロナ禍による休校に伴い、2020年、やむを得ない状況でオンライン授業を開始しました。しかしながら、このオンライン形式の授業は始めてみると、予想外に誠に有効な授業形態であることが分かりました。今後はオンラインが学校授業の主流になる可能性が高いのではないかとさえ感じています。今回のコロナ禍に対応した一時だけのオンライン授業ではなく、さらに進化・活性化して主流になり、一条校においてもどんどん取り入れていく時代が到来するでしょう。実際に2024年度からは全ての生徒がタブレット端末見ながら授業を行い、教科書の一部もオンライン教科書になるなど、本格的なオンライン化がスタートします。

ここまで来ると、全ての授業が以前の対面形式に戻る事はありませんとさえ思われます。この状況下で、我々はどのようなオンライン授業を始める必要があるのでしょうか。さらに「今から始められるオンライン授業とは？」といった点について、当校で実際に行うオンライン授業の内容を検証してご紹介するのが本講演です。

全国専修学校一般課程各種学校協会が実施する生涯学習カレッジ認定講座は、『生涯学習事業を広く社会へ知らしめるとともに、その事業を普及・推進することにより生涯学習社会構築及び地域社会への貢献に資する』ことを目的としています。

今年度のこの講座一覧に、当校の一般向け映像講座「英語をより深く考えるための英文法～永田の遺言」と「前置詞から考える英文法～永田の遺言2」という2つの講座があります。これらは大変好評なオンライン講座で、受講料も通常の予備校の対面式の受講料単価とほぼ同額、高めの料金設定にもかかわらず成功しておりますので、その実証についてお話しします。

そもそも私はオンライン授業というものは、全てがオンライン化しないと上手くいかないし、ネット完結できるオンライン授業にするべきと考えています。

例えば、オンライン授業の受講希望者が紙の願書を持って来校し、受講申し込みを行うケースはまず無いでしょう。希望者はスマホで講座を探してネットで出願し、カードで決済し、Zoom 等の準備を整えた上で、実際に受講するというパターンが主流です。

一般的な予備校や塾は、今や全てがネットで完結できないと人が集まりません。以前からの紙媒体でパンフレットを作成して配布、受講希望者は申込書を郵送または FAX で送るといった時代は終わりました。まずこの点を押さえておかないとオンライン受講者は来ないと考えます。全てをスマホやタブレットで対応できる環境を整えるという点に、オンライン授業成功のポイントがあると私は考えています。

もう一点、オンライン授業を行うにあたって重要な事項があります。

対面式の授業で必要とされていた、黒板とチョーク、机と椅子、ノートや鉛筆等は、明治時代以降の学習形態で使用され始めた物です。江戸時代までは写経や書写、講和を聞く、素読するのが基本的な授業形態でした。これらは一見、過去のやり方のように、考えてみると全部がオンラインで可能な学習形態だと気づきます。明治以降の教育目的には富国強兵があり、同種の人材を大量に育成する目的において黒板等を使用した授業は効果的な学習方法だったでしょう。ところが最近、逆に個性を生かして多様性を持った教養ある人間を育成しなければならない社会になってきました。現代においてどのような教育が良いかを考えた時、明治以前の教育へ立ち返り、それを新しい方法で行うという発想が出てきました。社会の大きな変化の中、大量生産大量消費のための教育から、個性を引き出せるような新しい教育へ変わっていく、その中でオンライン授業を活用するか問題が顕在化しています。

実際にオンライン授業を実施してみると、受講者が授業に飽きるのが早いように感じます。やる気、モチベーションをいかに持続させるかが課題になっているのではないのでしょうか。テレビでも「やる気スイッチ」といった表現が生まれ、求められていると分かります。教育もオンライン授業を想定した指導に変化しつつあると思います。

その一つの方法が個別指導です。現在では大学生アルバイトの先生がオンライン授業を見せながら指導していく、という方法が塾の指導の主流になってきました。それは「やる気スイッチ」を押すのは生徒の傍らにいる大学生で、スーパー講師によるオンライン授業を見せながら授業に飽きないよう学習させる仕組みです。現在、最も素晴らしい学習方法とも言われています。さらにもう一步進んで、その大学生アルバイトを AI に代える動きも出始めています。例えば、生徒がやる気が落ちてきたり、考えに迷っている場面を AI が感じ取って、パッと画面にアドバイスを出示したりする方法も一部で始まっています。個別指導塾では広告宣伝文句の中に「AI 導入」と謳った方が人気が出るという現象さえ起こっています。こうなると、全ての学校が導入せざるを得ない状況になるかもしれないと我々は危惧しています。

では、どうすればオンライン授業は手軽に開始できるのでしょうか。私は、考えるよりも先にオンライン授業を始めてみるのが早道だと考えています。今日は当校の経験から、最も手軽に映像によるオンライン授業を導入できる方法を、ご紹介したいと思います。

【講師との出会いとオンライン授業開始までのプロセス】

私は早稲田予備校本部で教務や広報業務を担当している戸村将文と申します。

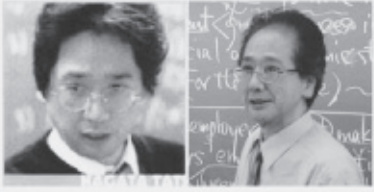
当校のオンライン授業の詳細について説明させていただきます。今回、映像授業の作り方がテーマですが、特に「手軽な」というポイントについてお話しします。

オンラインによる映像授業というと、大きなカメラや配信用の設備が必要で、ハードルが高いと考えておられる方も多いでしょう。しかし今回の講座は、家電量販店で買える小さなホームビデオカメラを使用し、テキストだけ一人一冊ずつ作成しました。他にはホームページから受講申込できる準備を整えただけです。改めて願書を作成したり、パンフレットを作成したりといった準備はなく、早稲田予備校のホームページに一枚物の募集記事を掲載し、そこから申し込みできる準備を整えただけでした。

早稲田予備校 戸村

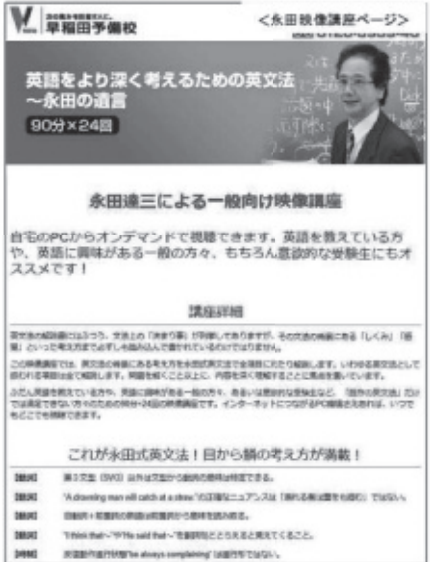
手軽な映像授業の作り方と検証
映像講座『永田の遺言』シリーズ（英語をより深く考えるための英文法[90分×24回]、前置詞から考える英文法[100分×12回]）

【講師 永田達三】
① 東京外国語大学入学後中退後、3年間渡米。帰国後、早稲田大学法学部卒。
② 早稲田ゼミナール、東進ハイスクール、永田塾などに出演。現在早稲田予備校に出演。東進ブックス、研究社、桐原書店、学研などから著書多数。



【映像講座】
① インターネットによるオンデマンド映像講座
② 早稲田予備校 HP > 永田映像講座ページ から随時申込
③ 入会後にお知らせする ログインID(学籍番号)で視聴





費用面でみると、支出は講師への謝礼とテキスト印刷代程度です。広報・PRもツイッターによる拡散やYouTubeに先生のチャンネルを作ってそこから誘導する形にしたため、ダイレクトメール等は必要なく、ホームページ作成費用のみでした。マンパワーの面でも基本的な作業は私一人で行えたため、他の人件費はかかりません。授業の作成はほぼ講師と私の2人で行いました。

収入面では、初公開したのが2020年11月で約1年半経ちますが、開始当初の申込人数をピークに少しずつ減少したものの、「永田の遺言シリーズPART1」は、現在60名の申し込み者があります。受講費用は8万円で割引等はありません。PART2も既に10名の申し込みがあり、受講費用は4万5千円で、やはり割引はしておりません。まだ小さな規模ですが、ある程度の安定した収入もあり、今後拡大していけば、色々な活用ができると考えています。

私が学生だった当時、永田達三先生は予備校業界で有名な教師でした。私は講師の採用も担当しておりますが、2019年に永田先生からご応募がありました。先生は当時65歳で、若い学生とうまくコミュニケーションが取れるか少し心配でしたが、今回のオンライン授業の受講生は学生というより、当時、教え子だった人達がメインになっており、順調に授業を進めています。

採用時に、著書もたくさんお持ちで予備校の看板だった有名な先生が、なぜ当校へ応募されたのですかと質問したところ、ご自身のお住まいが高田馬場で、当校の近所だったから応募してみたとのことのお返事でした。先生はご自身のご病気のために2009年に一旦引退されたのですが、天職なのでしょう、回復に伴い当校に応募されたそうです。永田先生は元々、東京外語大学に入学してすぐに中退された経歴をお持ちで、その後すぐに3年間、イギリスのあちこちで英語を吸収されたそうです。先生の言葉によると、ホテルのアルバイトをしながら時間のある時に公園に通っていたところ、そこにいたホームレスの中に、元オックスフォード大学の教授だった方がいて、その方とのやり取りの中で英語について多くを学んだそうです。

帰国して早稲田ゼミナールという学校で出講、その後、開校したばかりの東進ハイスクールに引き抜か

れました。当時の人気講師の授業料の相場と比較しても、その数倍の授業料で出講されていたと聞いています。先生の当時の教え子や著書の愛読者が多かったことで、今回の映像授業にも関心を持っていただけたと思います。

次に映像講座の概要についてご紹介します。

現在、高等学校等でオンライン授業を行う場合は Zoom を使用したライブ形式が圧倒的に多いようです。しかし今回、私達が選択したのはオンデマンドという形式でした。視聴契約をしてもらい、インターネットへの接続を通じて自分の好きな時に好きな番組を視聴できるというものです。視聴申込はホームページ内の入力画面を利用します。今後はカードでの決済も可能になるよう検討していきたいと考えておりますが、現状はメールで振込の案内し、入金をお願いしております。当然と言えるかもしれませんが、私はこの講座の受講者に一人も直接お会いしたことがありません。このシステムは学校側の手続きは簡単ですが、逆に、直接、受講者の感想等を聞く機会が無いのが問題と考え、受講後にアンケートを送付して記入をお願いしています。感想は聞けても、受講者の職業や受講の動機や目的が分かり辛いという点に、通学生と比べると、もどかしさがあります。

振り込みが完了すると、ログイン ID をお知らせして視聴が可能になります。学校のホームページ上部の「オンライン視聴」をクリックして、自分で設定したパスワード等を入力して視聴へと進みます。

学校のホームページ経由で視聴できるようにしたのは、元々当校にあった、授業欠席者や復習希望者のためのバックアップ用録画のシステムを利用したためです。当初は授業のビデオテープを3カ月間保管していましたが、それを第2段階としてコンパクトな DVD に置き換えました。しかし DVD が貸出中だと他の学生は視聴できないという問題があり、そこで第3段階として、校内のコンピュータに取り込んで視聴可能にしました。さらにコロナ禍が契機となり、通学が不安だという生徒が増えたためインターネット上で公開することにし、ホームページでパスワードを入力して視聴できるようにしたのが、第4段階の現在です。

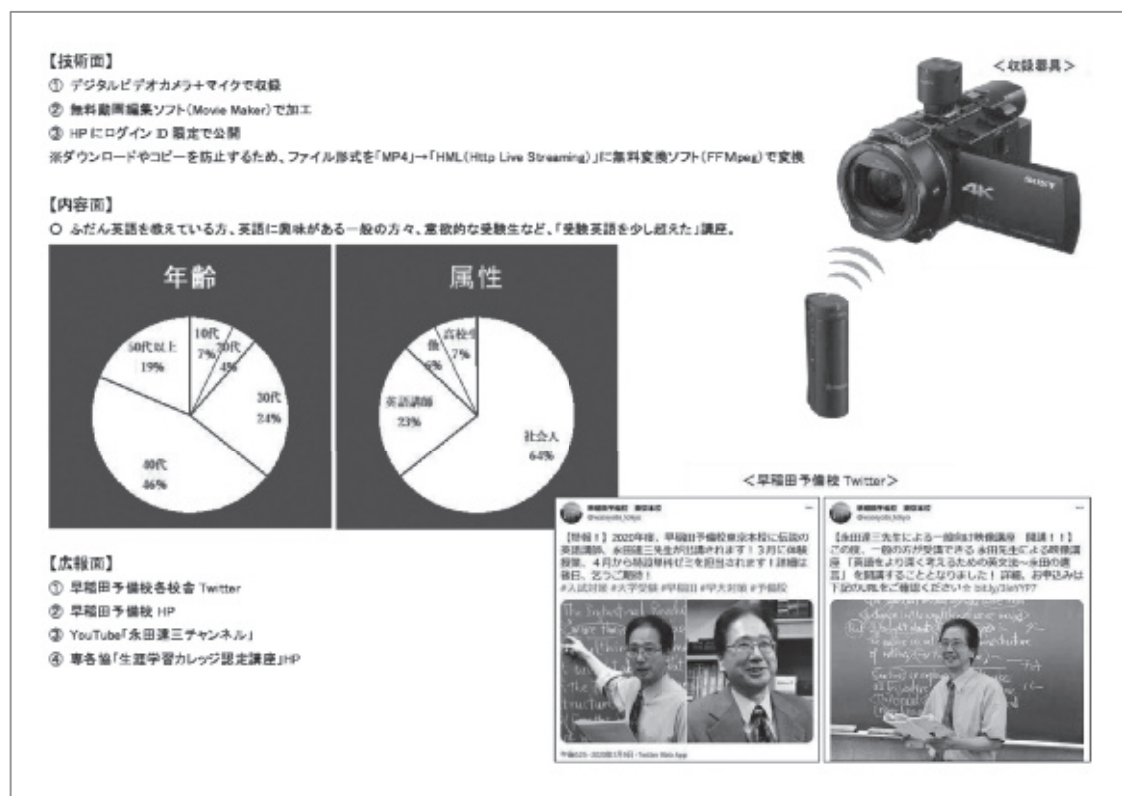
【技術の進化が導入を容易に】

続いて技術面についてご説明します。私が全てを準備したのではなく、e システムというパソコン関係を担当している部署に協力してもらいました。①機材はデジタルビデオカメラとマイクを使用し、他には三脚を立て、簡単な照明を用意しました。照明電球 10 個位を並べて、黒板の前から照らすもので、照明機材を買ったのではなく、電球をたくさん購入した程度です。

録画時には、カメラに向かって先生一人だけで授業を行うのも可能ですが、反応があった方が授業を進めやすいとのことで、私は後ろの方から、頷いたり反応したりして参加しています。

録画後には無料動画の編集ソフトを使用します。私はムービーメーカーというソフトを使用しましたが、検索すると良いソフトがたくさん出てきます。色々なソフトを試してみたいかと思いますが、これらの編集ソフトは、タイトルや字幕、エンドロールを付ける、画面を切った繋ぎ目が目立たないように2つの画面を繋ぐ加工も簡単にできます。現在は私一人がこの作業を行っていますが、ソフトの説明書を読まなくても作業できるレベルです。専門的な知識が無くても基本的な操作はできると思います。そしていよいよ編集した録画データをホームページにアップできる状態になります。

対外的な問題として懸念されたのは、公開した画像を無断でダウンロードしたりコピーしたりして勝手に使用されてしまうという点でした。そこは社内の e システムと協力して討議、MP4 形式から HLS streaming というファイル形式に変更して、コピーしにくいファイルにしました。これも特別な準備ではなく、既存の無料ソフトを使用して加工できます。その他、細かく言えばログイン ID やパスワードを共有し複数で視聴されてしまう可能性等もありますが、ある程度は防止できていると思います。



【ハイレベルな講座に集まった受講生】

永田先生の授業の視聴者には元教え子や著書の愛読者、英語の先生等が多いと先ほど申し上げました。その理由は、一般の予備校の授業としては授業のレベルがかなり高いこと、受験に関して必須の学習内容の域を少し超えていることです。これまで先生は、「教えたい内容はたくさんあるけれど、なかなか生徒が付いて来られない。授業ではかなりレベルを落とさざるを得ない。」と仰っていました。それなら先生の実力をフルに生かせる授業を作ろう。その代わり永田先生のレベルについて来られる生徒だけを集めようと決めました。その結果、ハイレベルな視聴者をターゲットとした講座となり、英語を教えている方、英語に興味がある一般の方、意欲的な受験生等を対象として実施しています。

申し込み時に記入された年齢や属性をみると、10 歳代、20 歳代はほとんどおらず、30 歳代 24%、40 歳代が 46%となっており、多くがかつての先生の教え子だと分かります。属性は社会人、英語講師が多く、今も英語を使っている方ようです。その他は 6%いますが、大学生や大学講師、准教授の方々です。

【最後に、広報は SNS をフル活用して】

広報に関して最後にお話しします。講座の趣旨からダイレクトメールは作成せず、授業内容は当校の Twitter を用いてまず拡散しました。永田先生は以前、ご自身で「永田塾」というものを運営しておられました。その時に従業員として一緒に働いた英語の関正生先生、日本史の伊藤賀一先生は、最近話題のリクルートのスタディサブリの看板講師になっています。永田塾から立派に独り立ちされた先生方のリツイートも期待しつつ、Twitter に永田先生が復活するという内容を書きました。予想通りのリツイートもあり、全国にぐっと広がっていった気がします。実際の生徒募集に繋がったかどうかは不明ですが、告知に役立ったのが Twitter でした。



その他、早稲田予備校のホームページに永田先生の映像講座の紹介ページを設けています。分かりやすいように授業風景の抜粋、動画のサンプルも掲載しています。1～2分を切り取って、先生の授業の良さが伝わるように作りました。

YouTube も授業公開後に開始しました。まだ1年ほどですが、授業のサンプルを公開し、興味がある方は見て下さいと画面の下方にリンクを付けています。再生回数は全部合わせて 77,000 人位です。「永田達三チャンネル」になっていますが、運営は早稲田予備校が行っています。先生の名前のチャンネルにした方が、大勢のファンが付いてくるというユーチューバーのアドバイスに従い永田先生を前面に出し、小さく「Produce by 早稲田予備校」と書いています。現状では月々1本程度配信しており、まだ30本程度ですが今後も増やしていく予定です。講座はシリーズになっており、文法と前置詞が終わりましたが、今後は長文なども予定しています。

私からの映像授業についての説明は以上になります。

ご清聴ありがとうございました。

留学生受け入れにかかる日本語教育の重要性について

学校法人江副学園 新宿日本語学校 江副隆秀理事長

【はじめに】

学校法人江副学園新宿日本語学校の江副隆秀です。
本日はよろしくお願いします。

始めに本校についてご紹介します。私の学校は、
新型コロナウイルス感染症の流行以前は外国人学生
600名程度が在籍していたのですが、この2年間は
ほとんど学生が来校しない状況が続いています。

2020年3月、政府の要請で小学校が全面休校に
なり、本校も休校となりました。ただ以前からグー
グルクラスルームを使用していたため、対面授業か
らほぼ1日の研修でスムーズにリモート学習体制に
移行できました。その後はずっとオンライン授業を
続けています。オンライン授業の開始時には、既にNTTと協力して作成していたLMS（ラーニング・
マネージメント・システム）のVLJ（ビジュアル・ラーニング・ジャパニーズ）などと一緒に漢字学習
アプリ等を使用することになりました。

スムーズに授業は開始できたものの、入国待機の学生のうち、近隣諸国では問題ありませんでしたが、
ヨーロッパの学生向けには夕方5時から授業を開始したり、現地で夕方に学習を希望する学生のために午
前3時から授業を行うなど、一時は対応が大変な時期もありました。



【日本文化から生まれた漢字】

今日は、これまで私が日本語教育を継続してきた上で感じた、日本語の素晴らしさや面白さの例をお話
しさせていただきます。

始めに、長野県の有名な諏訪神社の「御柱祭」と漢字の関連性についてです。有名な場面なので、皆様
もテレビのニュースなどでご覧になったことがあるかも知れませんが、氏子によって「木落とし」された木々
は、祭りの後に最終的に何処へ行くか皆さんご存知でしょうか。実は各大社の四角に運ばれ、そこに刺す
ような形で納められます。木の中央にあるのが神社ですから、大切な神社「示（しめす）」を木で四角から
抑えると、この木によって守られた場所は聖域となります。聖なる場所だから入ってはいけない、つまり
漢字の禁止の「禁」の字はこの形を表しています。諏訪神社にこれがあるのは、漢字と同じ文化を持っ
ていた人々が日本にやって来たのだと思います。同じ文化を持っても、一方は「禁」という漢字を広め
ていき、他方は多分、漢字ができる以前に、「禁」を祭りという文化として残したのではないかと考えてい
ます。

諏訪神社の「御柱祭」はあまりに古く、いつから始まったのかは分からないそうですが、こういう文化
が日本には多く残っています。実際に、諏訪地方に行くと、大小様々な神社が4本の柱に囲まれています。
小さな祠（ほくら）も含め、この地域の古くからの習慣が残っていることを実感させられます。

さらにもう一つ、「土」という漢字の原型は土を丸くして台の上に置いたような形でした。土を盛った部

分が漢字として残りました。意味は人が集まるということです。ここに先程と同じ「示」を加えると、社会の「社」という字になります。

日本の習慣の中にはかなり古いものが多く、漢字の成立とも関係があります。鳥取市の青谷上寺地遺跡からは、木製の「戈」(ほこ)が出土しています。「戈」は中国では馬車の上から振り回す武器なのですが、日本の遺跡からは木製の「戈」が見つかりました。武器としてではなく、宗教儀式に使用していた物だと分かります。武具ではなく儀式でしか使用しないため、日本では儀式的の時に使う「エ」を加えた「式」という漢字に変化したと説明すると、留学生もよく理解してくれます。更に、本来金属であるべきものの「かわり」即ち、「代わり」に使うのだという、これも留学生がよく理解してくれます。また、「式」の前に「良いか悪いか」を言葉で試す意味で試験の「試」という漢字に変化しています。調べてみると、日本語の奥深さに驚き、日本の皆様にもお伝えしたい、お教えとなるほど、興味深いものです。

今、皆様にお見せしているように、映像での教育の方が漢字は記憶しやすいと考えています。例えば「学」という漢字を教える時にも、「子供が学ぶ」という意味を映像で見せます。さらに、覚えるということは「見て覚えるのですね」と言って、「子」を「見」に変えると、留学生も、「なるほど、」と言い、覚えてくれます。漢字学習とはこのような面白いベースの上にあるのかなと考えたりしています。

【理解しやすい日本語教育を】

ところで、英語では「主語、動詞、目的語」が「SVO」の順となっていてと言われていて、日本語は「SOVの順だ」と言われています。でもそれは間違いだと思います。

例えば、「行く」という単語を、自分に関して言う時は「参ります」と言い、相手に関して言う時は「いらっしゃいます」となります。それ以外にも、「食べます」は「いただきます」、「召し上がります」などと自分と他人で、使い分けます。私は、日本語の「主語・動詞」が実は一体となっていて、その部分がSVなのではないかと思っています。

そこへ情報が付くのですが、日本語はその情報を先に言って、「学校」という情報と「行きます」という述部の間に「へ」などが入り、「学校」と「(私) 行きます」がどういう関係にあるかを示しているのだと思っています。その点、英語は述部が先ですから、「私・行きます」が述部で、そこに「学校」が付いてきます。そのため、「学校」の前に「へ=t o」といった助詞が入ります。結果的に英語の場合は、「学校」の前に「t o」という助詞が入るので、これは「前置詞」と呼ばれる形になりました。その点、日本語では、「学校」という情報の背後にの「へ」という助詞が付くので、「助詞」は位置的に、後置詞になります。

私はこのことを理解すると、日本人の英語は上手になると考えています。こうした全貌を理解することなく、「日本語には主語が無い」などと学習したため、日本人の英語学習は躓いたままになっているのではないかと思います。これは外国人に日本語を教えるという作業をしている時に、この全貌が理解できた外国人学生は日本語が上手になる傾向があるという印象を強く持っているからです。オンラインであろうが対面であろうが、構造的に教えて、内容が分かりやすいのが一番だろうと考えています。

私は例えば「を」という助詞を外国人に教える時にはカードを見せ、四つの使い方をまとめて教えます。①通過場所としての「を」は、浜辺を歩く、空を飛ぶ、海を渡るというように使用します。次の②は離脱場所としての「を」を教えます。この時は、矢印のみを残して、離れるイメージを伝えます。そして、「バスを降りる」「大学を卒業する」「席を立つ」のような離脱の「を」を紹介します。③つ目は「を」のカードの矢印や尻尾の部分を両方手で消すようにして、ただの「対象」として利用する「を」を教えます。例文は「パンを食べる」「テレビを見る」のようなものです。最後に「を」のカードを裏返して、私達が「する名詞」と呼んでいる名詞の直前や、直後につける「を」に付いて説明します。これは、一部お単語に「する」を付けると、「勉強する」のように「動詞」になりますが、するをつけない「勉強」だけだと「名詞」になるというようなものです。

こうした「品詞と助詞」の関係は、平仮名や漢字で書いただけでは文章から発見しにくいものです。図形化して見ることで、日本語を分けることが容易になります。例えて言えば、通常言われる「科学文法」

は助詞の「に」を説明するときに、①「6時にきます」の「に」は「時間の『に』」、②「机の上にあります」の「に」は「場所の『に』」、③「山田さんにあげます」の「に」は「授受の『に』」などのように、学問として日本語を分類するものです。「に」の場合は、「指している」という助詞のカード1枚で「時間を指し」「場所を指し」「人を指す」の大半の「に」の役目をカード一枚で示してしまうのです。その意味で、メタ文法は「学習と教育のための文法」と呼ばれる訳です。ストレートにその助詞の本来の意味、の表示だけで、教育が可能なので、オンライン授業でも外国人は日本語の構造を図形で見て理解できるのです。

【ウクライナの学生に日本語教室支援】

さて話が少し変わりますが、今年、ウクライナ避難民に対するオンライン日本語教室支援について文化庁から依頼がありました。なぜ本校に依頼があったのかを伺ったところ、①難民等に対する日本語教育実績を有すること、②ウクライナ難民の受け入れ実績を有すること、③オンラインによる有料の日本語教育プログラムの実施実績を有すること、④法務省告示校の場合、適正校であること、その要件に合致したため、本校に依頼したそうです。その様子は朝日新聞やNHKニュースで報道されました。

令和4年5月19日（木）朝日新聞 朝刊 掲載

2022年 令和4年 5月19日（木）

避難生活 日本語学び笑顔

文化庁 ウクライナ人向けオンライン教室

ウクライナから日本に避難してきた人々を対象にしたオンラインの日本語教室が、文化庁が中心となって始まった。

日本語学校に委託して提供されるプログラムだが、短期間で学ぶことが難しく、理解度は低い。担当者は「指導者や地方自治体にも知ってもらう必要がある」と話している。

「朝、昼、夜、夜」の4つの時間帯に分けて、朝は「おはよう、こんにちは」、昼は「おはよう、こんにちは」、夜は「おやすみ、おやすみ」というように、簡単な挨拶から始める。また、地方自治体にも知ってもらう必要があるという。担当者は「指導者や地方自治体にも知ってもらう必要がある」と話している。

このプログラムに申し込みたい、初日のクラスに参加した。授業の開始は緊張した。担当者は「指導者や地方自治体にも知ってもらう必要がある」と話している。

女性らはオンライン授業について興味を示し、「二つにわけて教えてほしい」とも要望が出ている。担当者は「二つにわけて教えてほしい」とも要望が出ている。

また、自費負担で受講する必要がある。担当者は「二つにわけて教えてほしい」とも要望が出ている。

（上野）

新聞記事に掲載されたのは「家」という漢字を教えている場面でした。授業のその場面では、「いえ」、「私のうち」、「お宅」という単語の意味を一度に教えているところでした。これは、先ほど、動詞のところで、「食べます/いただきます/召し上がります」とセットのようにしているということを書きましたが、それと同じように、名詞も「家/うち/お宅」のようにセットで教えています。さらに、たとえば、このような例では、「つま/家内/奥さん」のようにセットで教えています。

この場合、「居る」という動詞は、「います」、「おります」、「いらっしゃいます」の、3つの使い方を教えます。これらを合わせると次のようになります。

- ① （自分に関して）家内はうちにおります。
- ② （相手に関して）奥様はお宅にいらっしゃいますか。
- ③ （新聞記事のようにニュートラルな例）〇〇さんの妻は家にいました。

このように、自分に関する話と、相手に関する話、そして、新聞記事のようなニュートラルな表現で日本語の場合はパターンが綺麗に分かれています。

私は日本人自身が既に分かれている日本語を、「敬語」や「尊敬語・謙譲語」などと呼ぶことで複雑にしているように感じています。日本人自身が日本語を複雑であると認識してしまうと、そちらに引かれて外国人も混乱します。

笑い話のようですが、箱根などに行った学生が翌日、A先生に「先生、これ召し上がってください」と言い、B先生には「先生、これ食べてください」と言ったことがありました。学生をそっと呼んで、「先生には皆『召し上がってください』って言うべきです」と言ったところ、「僕は、A先生は尊敬していますが、B先生は、ちょっと…」と言ったので驚いたことがありました。実は、当時私達が使っていた教科書には、英語で *respectable expression* と書いてあったので、彼が言うことも一理はあったような気がしてしまいました。まだ、現在のような教授法を使っていなかった頃の話ですが。

外国人が日本語学習の初級の段階で正しい理解ができると、ずっと正しい日本語が使えます。しかし一度、入門期や初級で習った日本語の内容を途中で変更するのは、かえって困難になってしまいます。私は外国人により良い日本語を覚えてもらうために、なるべく印象に残るような映像の開発、指導方法に関する研究への努力を続けています。

【日本語の起源とは】

外国人に日本語を教える時に、初めに日本語とはどのような言語かを紹介すると学習効果が上がります。そうした内容について少し話させていただきます。

日本語の成立に関して、歴史過程が一番似ている言語は英語だと思います。英語とは、元々ケルト系の言語の中にアングロサクソン系の言語が入ったり、ゲルマン系の言語やフランス語の原型の言葉が入ったりして成立しています。ヨーロッパ系言語の勉強をなさった方々はご存知の通り、大陸の英語以外のすべての言語には女性名詞・男性名詞等がありますが、英語に限っては、そうした品詞の性別というのは何もありません。その理由は明確で、ある単語がゲルマン系の言語では男性名詞なのに、ラテン系の言語では女性名詞といった相違が多くあったためです。そうした区別は英語の中に入ってきた時に言語遭遇を起こし、互いに混乱を防ぐために、無くなってしまったという訳です。同時に、人称変化の複雑さも解消されました。

英語では、発音も単純化していて、ドイツ語やフランス語にある複雑な発音はありません。複雑な発音と単純な発音が合うと、必ず単純な方へ引かれるという原則があるためです。例えば単純な算数では $90 + 70 = 160$ となりますね。しかし実はこのような結果にならないケースもあるのです。それは 90°C のお湯と 70°C のお湯を足したら、結果として 80°C のお湯になるようなものです。実は日本語もこれらと同じ経緯がありまして、日本語の起源は諸説あるものの「古極東アジア語」系の言語を基に形成された言語に、インドネシア系言語の影響もあると言われています。その一例として同じ言葉を繰り返す、「畳語（たたみご・じょうご）」というものがあります。例えばインドネシア系言語でジャランは道路の意味ですが、ジャラン

ジャランと重ねると歩いて行くという意味に変わります。2つ以上重ねて言うと複数を表す言葉もあります。オランというのは人という意味ですが、オランオランと重ねることで、人々を表す単語になります。ついでのことながら、森（ウータン）に住んでいる人（オラン）を表す言葉がオランウータンという単語になりました。少し覚えやすくするために例として上げさせていただきました。

さて、中国は秦の時代等にどんどん拡大し、周辺に住んでいた人々の一部は日本へ移動しました。そのため日本語は中国系の言葉やビルマ系の言語の影響も受けています。実際に本校の日本語のクラスに、ビルマつまり現在のミャンマー出身の学生がいて、日本語の会話の上達は非常に早いのです。それは語順も助詞も日本語と同一だからだと思います。ただ、ミャンマー語は声調言語なので、ミャンマーの方が日本語を覚えるのは簡単なのですが、日本人がミャンマー語の発音を勉強するのはとても難しいのが残念な処です。

イノベーションこそが未来を開く

日本語教師が持ってた方がいい知識

1 日本語の本質を理解すると、教えることが見えてくる

言語遭遇の結果

- ・文法は単純になる
- ・発音は単純になる
- ・語彙・表現は複雑になる
- ・〔日本語の場合〕
中国の漢字を導入したため、複雑になった。
いい表現を使えば、豊富になったと言える。

日本語は形成過程から考えると、非常にシンプルな言語として出来上がっただろうと思っています。しかしながら中国の漢字の影響が大きく、漢字が入ってきたために良かれ悪しかれ複雑化したと考えられます。地政学に考えると、インドネシアも日本もユーラシア大陸の両側にある島国です。しかしより直接的に漢字文化を受け入れたという意味で、日本語は特徴的であると思います。そして、ひらがな、カタカナの誕生も含め、豊富な表現も生まれました。

その他、スラブ語の影響もあります。これは、ウクライナの学生に日本語を教えることとなり気付いたことです。ウクライナ語やロシア語は、ヨーロッパ系言語と日本語の中間のようなイメージを感じることがあります。それは、日本語が「どこへ」とか「バスで」のように、助詞だけで関係性が語れるのと同じような表現で会話が可能だからです。

英語やフランス語は最初に主語があるという文型で出来上がっていますが、日本語はご存知の通り文型が決まっていません。例えば、「あなたと私は公園へ行きます」という文章が、「行くよ、公園へ」という一言で通じてしまいます。さらに簡単に話す時は、書いた？聞いた？という短い単語だけで通じます。日本語は動詞が最後に来ると言われますが、実際には使用しておらず、それは改まった場面や正書の時だけの話です。普通の日本人同士の会話では「聞いた？あの話」で意味が通じます。

日本人は常に言いたい語順でバラバラに話していますが、驚くことにスラブ語系の言語も日本語と似たイメージがあるのです。スラブ系の言語を使用している、例えばウクライナの人に日本語を教える場合は、同じ言語背景にあるのを理解していないと無駄な努力を強いることになります。私は地域性や言語背景を意識し、知識を持つことが必要だと考えています。

ところで英語も日本語も文法も発音も単純なのですが、語彙や表現はかなり複雑になっています。例を

挙げると、中期英語では昔、豚のことを「ピッグ」と呼んでいました。ところが 1066 年にフランスによるイングランド征服後は、イングランドの宮廷内もフランス語を使用するようになりました。その頃、フランス語で豚は「ポルコ」と呼んでいました。そこで、宮廷内で言葉の使い方と街中での言葉の使い方に違いが起きてしまいました。そこで最終的に宮廷で調理した後の豚はポーク、調理前の豚は街にいるからピッグと区別するようになったのです。こうしたところに、多くの言葉が流入した英語や日本のような集合言語の特徴があるのだらうと思っています。

【日本児童の漢字学習の特徴】

さて、中国語の近代インフラ系の、かなりの言葉は日本語から発生しています。例えば中国語の「服務中心」は、「服務」も日本語、「中心」も日本語です。「中華人民共和国」の漢字の、「人民」も「共和国」も元々日本語で、英語からの翻訳に利用したものです。そのため中国人学生が日本語の試験を受ける際は、読解のテストの方が簡単に答えられます。漢文ではないのに、日本語にも漢字だけで書かれた文があります。例えば「独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研究支援研究部特別支援学校教育担当上級総括研究員」というのは、実際にある日本で一番長い漢字の役職名だそうです。一見、何語か分かりませんが、日本語を一度も習ったことのない中国人が見れば、内容を推測できると思います。

また、日本の小学生児童の学習対象の漢字は 1026 字となっているのに対し、簡体文字を利用している中国の児童の学習漢字数は 4718 字、繁体文字を利用している台湾と香港の児童は 3000 字を学習します。比べると日本の児童が覚える漢字の数 1026 字は圧倒的に少ないように見えますが、日本の漢字には、ほぼ 1000 字の音読みと 1000 字の訓読みが存在します。そして、音読みには「呉音/漢音/唐音/宋音」があります。

極端な例で「生」を挙げてみます。呉音「ショウ・ジョウ」、漢音（セイ・ゼイ）、唐音（サン）、呉音例「一生・誕生・立ち往生」、漢音例「人生・平生・厚生労働省・生存」、唐音（例外的使用：ソモサン〔作麼生〕）。以上、五例です。

しかし、訓読みや人名となると話が変わります。1「生（い）きる/かす」2「生（う）む/まれる」3「生（は）える/やす」4「生（お）い立ち」5-1「生（き）蕎麦」「生一本（き一本）」5-2「生（なま）蕎麦」「生（なま）ビール」6「芝生（ふ）」7「鈴生（な）り」、8「生田（いくた）」9「生垣（いけがき）」10「生憎（あいにく）」11「生粋（きっすい）」12「生方（うぶかた）」13「相生（あいおい）」14「生業（なりわい）」15「壬生（み）ぶ」16「弥生（やよい）」17「桐生（きりゅう）」18「羽生（はにゅう）」以上、「生」という漢字の（一例ではありませんが、）一例です。

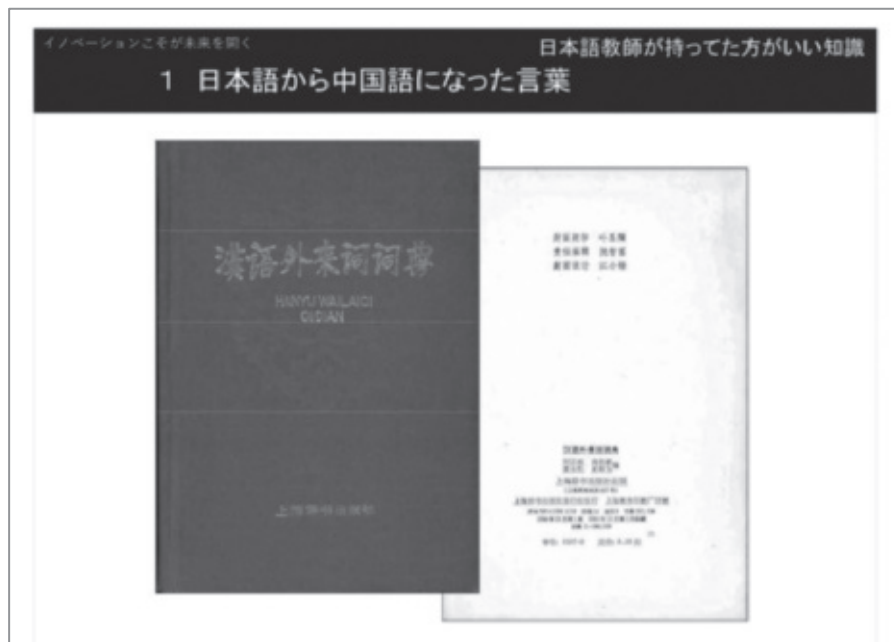
さらに、「今日」と書いて「きょう」と読ませるような、大量の熟字訓も学習する必要があります。中には、市場と書いて「いちば」と「しじょう」と使い分けるような熟語もあり、両方覚えるのは相当に難しい学習としか言えません。

しかし逆に、もう少し踏み込んでみると、相当量の日本初の熟語が海外に行き渡っているのです。例えば飛行機を韓国語で発音すると「飛（ピ）・行（ヘン）・機（ギ）」ですが、中国語で発音した場合は「飛（フェイ）・行（シン）・機（チー）」となります。日本人小学生は音読みと訓読みができるのですから、さらに韓国語読みと中国語読みを同時に教えたら、小学校の時から国際人になれる可能性があると思います。

【日本語の知識を教育へ生かす】

日本で生まれ、中国語になった言葉を集めた辞典もあります。中国人が研究して作成し使用している辞書です。これは中国語と日本語だけの比較をしたものです。

ところが、日本人が編集したものとなると、中国語だけを対象としたものに限りません。



ベトナムも 1945 年までは漢字文化圏でした。例えば日本で明治時代に生まれた「注意」という言葉は、中国、韓国、ベトナムへも広がっていきました。「電話」や「入口」という単語も同様に元々日本語です。今日私が紹介した日本語の特徴は一例に過ぎません。私は、もっと日本人に日本語の知識があれば、外国人を様々なアプローチで理解する事が出来るはずであり、勿体無いことだと思っています。今後はもっと日本語教育というものを重要視し、社会的にも認めて頂きたいと願っています。私からのお話は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

全国専修学校一般課程各種学校協会 役員一覧

令和4年度 役員名簿

(敬称略)

役職	都道府県	氏 名	学 校 名
会 長	栃 木	細野 美貴	真岡珠算簿記学校
副会長	兵 庫	帆 莉 絹代	加古川ファッションカレッジ
副会長	東 京	守谷 たつみ	専修学校早稲田予備校
理 事	埼 玉	武藤 嘉之	大宮珠算学校
理 事	東 京	江副 隆秀	新宿日本語学校
理 事	東 京	香川 順子	メロス言語学院
理 事	東 京	篠原 克彦	東洋言語学院
理 事	富 山	瀬尾 和子	瀬尾学園 総合カレッジS E O
理 事	岐 阜	立木 明	立木珠算学校
理 事	大 阪	窪津 典明	専修学校夕陽丘予備校
理 事	福 岡	古川 晃	田中重子製帽専門学院
理 事	熊 本	木庭 順子	専修学校熊本壺溪塾
監 事	石 川	坂本 繁夫	ドライビングスクールエクシール城東
監 事	沖 縄	白岩 直明	沖縄写真デザイン工芸学校

全国専修学校一般課程各種学校協会 令和4年度研修会 講演録

令和4年12月

発行 全国専修学校一般課程各種学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11 階

電話 03 (3230) 4814